



ROTARY INTERNATIONAL

DISTRICT 2760

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

276◎通信

ガバナー月信
AUGUST 1994

NO. 3

1994～1995年度、国際ロータリー会長のテーマ

BE A FRIEND

友達に なろう。

R.I.会長/ビル H. ハントレー

[会員増強・拡大月間]



1994～1995年国際ロータリー第2760地区

ガバナー 蜂谷 弘道

事務所/〒451 名古屋市西区槌の口町3-19

ホテルナゴヤキャッスル 427号室

TEL. (052)521-2121 FAX. (052)523-1998

情熱と愛をたたえた英国紳士、 ビル・ハントレーR.I.会長の言葉に、 私は決意を新たに。

1994～'95年度ビル・ハントレー会長のテーマ 「友達になろう」——解説

1994～'95年度

国際ロータリー第2760地区

ガバナー 蜂谷 弘道



3月10日より始まりました国際協議会。その第2日目、9時15分より1994～'95年度R.I.会長の講演が始まりました。私達ガバナー・ミニーは、目を輝かせて聴き入りました。私の感じたままに、その趣旨を意識させていただきました。

〈結 束〉

『それぞれの違った国、違った歴史と素姓を持った私達は奉仕の為に結束して、この会合に集まりました。色々学ぶ中でも特に、私どもは、ロータリー

の本質的な一体性を堅持しなければなりません。ロータリーの一体性は、宗教とも政治とも一線を画しているからこそ達成されたのです。ご承知のように、皆様方の固有の生き方と文化は、私どもの活力であり、必要不可欠なものです。それによってこそ、ロータリーの活動は生き生きとした彩りが伴うのです。

しかし、今日、私達はこの結束を脅しかねないナショナリズムや地域主義の高まりに直面しています。

R.I.第2450地区(中東地区)では、例えば、エジプト、ヨルダン、レバノン、シリア、アラブ首長国連

邦など、国それぞれに種々な問題を抱えています。

R.I.第1160地区(アイルランド)では、北と南の双方に地域的な問題も抱えていますが、私達ロータリアンは、隔てなく国境を越えて結束しています。私達ロータリアンは、中東やアイルランドだけでなく、世界中どここの国においてもこの結束の担い手になるのです。

ロータリーの理想は、歴史や素姓や国籍に関わりなく、共に奉仕する人々のいる所にこそ花開くのです。

1945年に、ロータリーが40周年を迎えた時、ポール・ハリスは、次のような質問を受けました。

「ロータリーは、何もかもうまくいっているのではありませんか？」

ポールは答えました。

「何もかもうまくいっている？もしそうなら神様は、我々が最後の日を迎えようとしていてと憐むでしょう。ありがたいことに、何もかも思わしくありません。ロータリーのどこをとっても、改善の余地のないことなど多分あり得ないでしょう。私は、ロータリーの開拓時代が始まったばかりだと考えたいのです。今までと同じくらいしなければならぬ事が沢山あります。ロータリーは、開拓者であり、継続しなければなりません。さもなければ、時代の進歩に取り残されてしまうでしょう。」

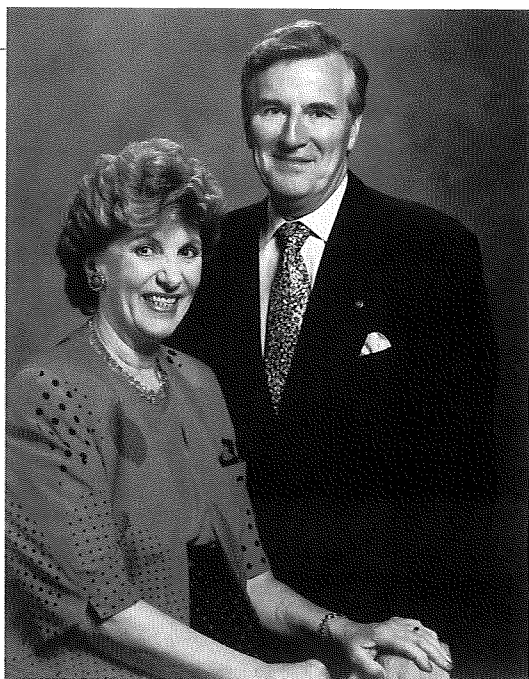
この事は、今日においても変わりありません。私達は、これまでと同じくらい大きく厳しい問題に直面しているのです。

だからご安心下さい。ロータリーの夢は、今なお生きています。奉仕の理想の火は、今も明るく輝いています。同時に、私達が未知の部分に注意深く進んでいくにつれて、細心の用心深い措置が必要になります。

〈地域への関心事〉

私は、ロータリーが地域、社会において、もっと充分目に見えて理解される事が必要だと考えています。ロータリーの理想の潜在力を、どのようにして地域の指導者に理解させていますか？

市民に対して、どうしたらもっと目ざましい影響を及ぼすことができるでしょう。私達ロータリーが持っているのは、ロータリアン一人ひとりの献身と



熱意だけです。私達の援助をどこに向けるべきか、明言できる人がいるでしょうか。

識字率の低さ、ホームレス、病気、貧困は世界的問題です。これらは、豊かな国にも、貧しい国にも等しく関係のある問題です。

ですから私達は、地元または遠くの国にかかわりなく、等しく地域を援助する機会を持っているのです。

私達は、都市のニーズ、遠くの地域のニーズをしっかりと知ることが必要です。

ニーズが高まっているのに、叶えられないのが気掛かりです。

無法状態が広がっているのに、抑えられないのが気掛かりです。

薬物濫用が広がっているのに、止められないのが気掛かりです。

また、私達はロータリーの奉仕活動の中に、地域の保健問題、外国人流入問題、住居、教育、高齢者等あらゆる問題を取り込む必要があります。

しかし、それらを別々のプログラムとして取り込むではありません。地域レベル、国際レベルで考える場合、いわゆる社会奉仕のすべての面、職業奉仕の多くの面が、こうした関心事と不可分です。

私は、活動を細分化する事に疑問を覚えざるを得ません。

例えば、社会奉仕と世界社会奉仕に本当の差があ

るのでしょうか。ロータリーの活動の各部分に名称を付けることが、一体どうして必要なのでしょうか。

私達は、最近プログラムのバランスをとる事を心掛けてきました。

私達は、現在の多くのプログラムを簡素化しなければならないでしょう。世界が変わるにつれ、ニーズも期待も変わります。世界が動いているのに、既知のもの、心地よいものに、いつまでも固執してはなりません。世界におけるロータリーの役割を今こそ見直さなければなりません。

〈テーマ〉

こうした考えの全てを、1994～'95年度のテーマに、どのように凝縮できるでしょうか？

思いやりのある世界をつくり、人類への奉仕こそ我が務めとするその我々の希望を言葉にすると、どのようなテーマなら継続性があり、自発的行動を促し、ロータリーの夢を実現するのに役立つでしょうか？

最初、私はテーマを質問の形で示そうとしました。

「私に何かできますか？」

この質問に答えているうちに私の考えが、段々分かってきました。そうです、誰にも理解される命題があります。感動を与え、より良い生活ができるように人々に手を差し伸べる行動。申し分のない、ロータリアンとなれるたった一つの確かな方法。それは極めて簡単です。皆さんに対する、そしてすべてのロータリアンに対する、私の提唱、それは：

「…友達になろう…」

ロータリアンが多くの異なった場所に住んでいるように、私たちには、多くの異なった才能があります。問題なのは、この才能の使い方です。

私達が友達になることができれば、この才能を最も効果的に使うことができるということです。私達は忍耐強い。私達は情け深い。友達は妬まない。自慢しない。自分の利益を求めない。恨みを抱かない。あなたが友達なら、すべてを忍ぶ。

「もう沢山だ。」とは決して言わないでしょう。友達は永遠です。ご存じのように世界のニーズは小さくなっていません。実際は増えているでしょう。世界の人々は、恐怖によって生きることができません。希望によって生きられるのです。

私は信じます。友達は、希望を与えてくれます。友達は、信念を高めてくれます。友達とは、単純明快、身をもって愛を実践できる人です。

さあ周囲を見回してください。国際ロータリーがこのような友達を与えてくれるとしたら、それだけで国際ロータリーは価値があるのです。

「まさに、友達は世界を繋ぐセメントです。」

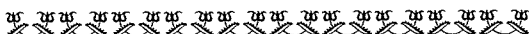
ロータリーは孤独から生まれました。ポール・ハリスの孤独です。ロータリーは寂しい人に希望を、見捨てられた人に援助をもたらすために存在しています。』

演説は終わりました。万雷の拍手が鳴りわたり、会場のガバナー・ノミニーの方々の目からは、涙が溢れていました。感激の涙です。

今年のビル・ハントレー R.I.会長のテーマは、従って、孤独の中でポール・ハリスが求め続けたあの言葉 “BE A FRIEND” だったのです。

目には愛の光を宿し、口元には愛の微笑みを漂わせる思いやりの深いスマートな英国紳士。

私は、「この人の為には、ひと肌脱がなければ。」と心の底で誓ったのでした。



★ロータリー・レート変更のお知らせ★

国際ロータリー世界本部より、ロータリー適用相場について、本年8月1日から総ての振込に対する適用相場（ロータリー・レート）を1ドル100円（従来105円）に変更する旨来電がありました。

従って、8月1日以降の入金お取扱いは新レート（100円）が適用されますのでご注意ください。

"会員増強"

魅力と活気あるクラブの確立こそ、 会員増強の道。

1994～'95年度

国際ロータリー第2760地区

ガバナー 蜂谷 弘道

象は象を産み、薔薇は薔薇を増やし、人参は人参の種を残し、それぞれの種族は跡継ぎを育て、その種族の繁栄を図ります。ロータリーもこれと一緒にです。

ロータリーのように人間社会をより明るく、より温かくしようとする良質種を生い繁らせることが人類の幸福に繋がります。私たちは、ロータリーの理念を、将来を担う世代の人々にうけついでもらう責任があります。

このような観点から見ますと、会員の増強という事に深い意義を感じるのです。次の世代を担う人達に、ロータリーの魅力をどのように理解し、感じて頂けるかという事に、私たちは心がけなければなりません。それには、日頃のクラブ奉仕活動が大きな意味を持っています。

若い人達、若い女性、若い職業人、若い家族、皆、ロータリークラブの和やかな気分が味わえなければなりません。友達同士という感覚で居心地が良く、お互いに許しあった雰囲気を楽しめ、これを私たちロータリアン同士の間で感じるものにしなければなりません。

このようなクラブの雰囲気があつてこそ、若いロータリアンが入会されるのです。

そして、奉仕活動についてもお金を寄付するだけでなく、時間を費やし、実際に足を使い、手を使って、奉仕活動の満足感を得ることが必要です。奉仕活動に関しても時代のニーズに合わせ、人類のために尊い価値のあるものを選びたいと思います。

私たちは、情熱に溢れた若い人々に関心を持って頂き、ロータリーに入会して献身する事を望んでもらえるような新鮮な活動を見い出さなければなりません。

このようにして若い人達をクラブに紹介し、入会して頂くのも私たちロータリアンの大きな責任なのです。

第2760地区内のそれぞれのクラブを、若い人達にとって魅力ある活気あるクラブにすることはクラブの会長さんのリーダーシップにかかっていると思います。

クラブの会長の皆様、ロータリアンの皆様、力を合わせてこの暑い夏、ロータリーのために一肌脱いで頑張ってください。



第2760地区拡大委員長

鈴木 孝平

ちれば必ず産まれ出るもので、急いだために未熟児のまま活力のないクラブで終わってしまう例もない訳ではないと思います。しかし拡大の効果は大変大きいものでして、新たに地域を限定して熱心に増強に努めると、思いもかけなかった立派な、そしてアクティブな新会員を獲得する事が出来、その会員から派生的に新しい分野からの入会者も増し、活力あふれる素晴らしい新クラブが誕生します。そして、その人達は年齢も若く、またその令夫人達も無論若々しくて美しく、ロータリー活動に理解が深く、それはそれは明るく楽しいクラブライフが満喫出来ます。

今、第2760地区は72クラブですが、「あまりクラブ数が増えるとガバナーが大変だとか、また地区の分割があるからそんなに増やさない方がよい」との意見がありますが、その時にはその時なりの対応策が必ず考え出されますし、ロータリーはいつでもより良い方向へ発展を続けるものと確信をいたしております。

ロータリーは「勞他利」でなくてはなりません。また、「杏より梅が安し」です。地区内のクラブの皆様、可能性に向かって明日のために種播きをお願いいたします。

本年3月4日付をもって地区拡大委員長を委嘱されました。おそらく、前年刈谷ロータリークラブがスポンサーで、知立ロータリークラブを新設した時の特別代表の経験を買われてのことであろうと思いましたが、お隣の安城ロータリークラブも近年拡大の研究が進められており、刈谷中学の同級生太田昭夫君が本年度の分区代理に就任する予定なので、プレッシャーを意図しての人事かと勘ぐってみたりして、蜂谷さんに真意を尋ねましたところ、「全くその意はない。名古屋市内でかなり具体化したクラブがあるのでその補佐をしてほしい。安城ロータリークラブについては、相談があったら乗ってやっていただければよろしい。」とのお言葉をいただき、ほっとしています。

拡大というのは、無理は禁物で、出産と同様、月が満



第2760地区会員増強委員長

荻野 修

決議している。そしてその責任には、適格者を推薦しロータリーの拡大に助力する義務が含まれることを規定している。即ち、我々は入会したその時から、奉仕の理想の実践と入会適格者を探し求める責務を義務づけられているのである。

このようにロータリーの活性化と奉仕の理想の実現のためには、新鮮なアイデアと実行力を有する若い適格者の入会が（女性も含め）まさに切望されている訳でもある。

不可抗力の減少をカバーし、一層の増強を目指す為には、上半期に会員数の10%程度の適格者のリストアップをすることにまず取り組まなければ、到底目的を達することはかなわぬであろう。そして、量は力となり、質は各クラブの活力と切磋琢磨により高められ、ともに力を合わせ前進しなければならない。

2760地区の皆様、生き生きとした活力ある、そして誇りあるロータリーとするため、新しい血、新しい頭脳の入会を目指し、各クラブの特色を生かした会員増強にすぐにも取り組み、身近な隣人、友人に親しく声をかけようではありませんか!!

「会員増強のないところに、ロータリーの奉仕も前進しない。」

この言葉は、地域社会での発展を目指すロータリークラブにとって、忘れることの出来ない一言である。定員も定年もないロータリーに、もし新入会員がないと仮定すれば、その衰退は誰でも予見されるからである。

即ち、会費収入の減少と、クラブ活動や対外的な奉仕活動の沈滞を来すことは言う迄もない。そしてただの昼めし会にも転落した老多利クラブは、メンバーであることがかえって恥かしくなると言う最悪の事態を招き、会員数の減少に一層の拍車がかかる悪循環に陥るのである。

はしなくも1975年、R.I.は、ロータリーの目的の本質を、個人による奉仕の理想、実践の責務と責任の受諾にあると

第2760地区 ロータリークラブ拡大表

() 内数字は認証年月日

東 京					
名古屋 (T14.02.7)	津 島 (28.06.27)	あ ま (44.06.23)	春 日 井 (44.05.01)		
	尾 西 (30.12.17)	小 牧 (43.02.01)	名古屋空港 (49.08.31)		
	犬 山 (36.11.06)	一 宮 北 (38.06.30)	豊 山 一 城 北 (61.03.24)		
一 宮 (24.12.31)	一 宮 中 央 (H2.11.16)	西 春 日 井 (50.11.03)	尾 張 中 央 (59.01.30)		
	稲 沢 (38.12.06)	岩 倉 (54.05.18)			
	江 南 (40.06.25)	安 城 (33.02.06)	豊 田 西 (45.09.01)		
		豊 田 (36.01.24)	豊 田 三 好 (H2.06.19)		
			豊 田 東 (55.06.01)		
	岡 崎 (26.06.18)	岡 崎 南 (39.11.12)	岡 崎 城 南 (H1.03.22)		
		岡 崎 東 (48.05.02)	西尾KIRARA (H3.07.26)		
	蒲 郡 (29.04.22)	西 尾 (33.06.13)	一 色 (37.12.03)		
		豊 川 (34.03.12)	豊 川 宝 飯 (61.01.21)		
豊 橋 (25.08.26)	豊 橋 北 (32.05.24)	新 城 (42.05.24)			
	田 原 (36.04.20)	奥 三 河 (45.06.15)			
		渥 美 (44.04.26)			
		田原バシフィック (H2.08.20)			
	豊 橋 南 (41.05.12)				
	豊橋ゴールドデン (63.11.17)				
半 田 (26.06.06)	常 滑 (41.06.11)	知 多 (63.01.08)			
	東 知 多 (44.06.13)				
	半 田 南 (55.02.25)				
名古屋西 (29.02.05)	名古屋港 (41.05.12)	東 海 (44.05.09)			
	名古屋名駅 (H3.04.17)				
刈 谷 (29.02.05)	碧 南 (34.04.08)				
	高 浜 (44.02.26)				
	知 立 (H3.02.01)				
名古屋南 (32.04.01)	名古屋東南 (44.03.12)	名古屋名南 (H3.03.08)			
	名古屋瑞穂 (55.01.21)				
名古屋北 (34.06.17)	名古屋守山 (39.05.07)				
	名古屋名北 (56.03.26)				
	名古屋昭和 (H4.05.29)				
名古屋東 (34.06.30)	名古屋和合 (47.04.27)	名古屋名東 (53.06.30)			
	名古屋千種 (57.08.24)				
瀬 戸 (34.09.11)	尾 張 旭 (46.02.11)				
	瀬 戸 北 (53.12.07)				
名古屋中 (44.10.13)	名古屋大須 (60.02.12)				
		名古屋栄 (H2.05.01)			

※平成6年6月末現在／72クラブ・会員数6,026名

と一緒に「楽しい時間」に しようではありませんか。

ガバナー
公式訪問に
際して

1994～'95年度

国際ロータリー第2760地区

ガバナー 蜂谷 弘道

ガバナー公式訪問がいよいよ始まりました。
これは、R.I.の地区役員としての責務です。そ
れぞれのクラブを訪問して

- 1) ビル・ハントレーR.I.会長の方針をお伝え
する。
 - 2) それぞれのクラブの特色や現状を把握し、
親睦と奉仕についてのご努力を知る。
 - 3) それぞれの会員にお会いして友情を結び、
会員の方々のご努力に対し感謝する。
- これらが、ガバナーの務めであります。

皆様、今年のR.I.会長の“テーマ”はご存じ
ですね。そうです。“BE A FRIEND”です。
従って私は、R.I.会長のお言葉通り皆様とお
友達になるためにお伺いするのです。

歴代のガバナーがされたと同じように

A) 会長、幹事との協議会

これによって報告書を作成いたします。会
長、幹事の方々には、私を友達だと思って遠
慮なく十分な情報を私に伝えて下さい。その
後、会長さんとガバナーだけの時間を頂きた
いと思います。これは、会長さんとガバナー
との友情を醸し出す時間です。

B) 例会

ここでは「楽しい時間をつくりたい」と思
います。ガバナーに対して敬意を表し過ぎて
頂くと居心地が悪くなりますので、友達とし
て、ごく普通に迎えて下さい。どうかガバナ
ースピーチの時は退屈であっても眠らずに聞
いて下さい。

C) クラブアッセンブリー

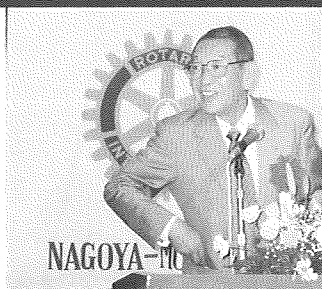
会長の司会の下、各委員長さんのご報告に
対して一人一人質問、感想を述べさせて頂き
ます。私は、ロータリーの理念、会長さんの
リーダーシップを尊重いたします。本質がロ
ータリーの哲学に合致していれば、会長さん
のご裁量に賛成いたします。

また、それぞれのクラブの個性も大いに歓
迎いたします。どのクラブも同じような金太
郎飴では、ロータリーは悲しくなります。ロ
ータリーに本音と建前があってはなりません。
本音で真実を求め尽くすのがロータリーであ
ります。歴史が長くなると形式にとらわれが
ちですが、不要と思われる委員会はどんど
削って下さい。これも会長さんのご裁量にお
任せします。

活気がありフェローシップに溢れ、年齢を
超えた友情があり、常に若い会員の笑顔があ
るクラブライフ、大らかに互いを受け入れあ
う事のできる和やかな雰囲気、さらに行動力
のあるクラブこそ、ポール・ハリスが求めら
れた本当のロータリーではないでしょうか？



名古屋守山ロータリークラブ



職業奉

- 1 顧客に対しては、最上の品質、常に正直と親切
- 2 従業員に対しては、彼等の長所を充分に活用し、安全で快適な職場環境に對しては、公正な評価を

「気品高きクラブ」

■訪問日：7月14日(休)
■例会場：名古屋都ホテル

●会 長：山田 静夫
●幹 事：徳永 和人
●会員数：84名

クラブ全体の印象として「気品高いクラブ」と感じました。地域への思いやり、奉仕活動はまさに感動的です。また、地区大会のホストクラブとして全力投球をされ、心より敬意を表します。若い会員の増強に力を入れておみえになり、頼もしく思いました。

あまロータリークラブ



「活気あふれるクラブ」

■訪問日：7月18日(月)
■例会場：名鉄グランドホテル

●会 長：森 幸一
●幹 事：加藤 文義
●会員数：101名

極めて活気があり、親睦・奉仕ともに優秀なクラブです。経験豊富なスタッフも多く、楽しい会合がもてました。会員増強のパワーもよく分りました。

豊川ロータリークラブ



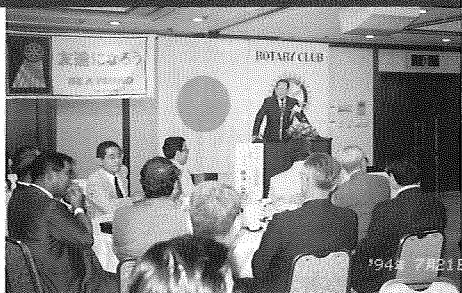
「県下最初のインターアクトクラブ」

■訪問日：7月20日(水)
■例会場：豊川商工会議所 会館

●会 長：吉野 隆
●幹 事：鈴木 敬吾
●会員数：79名

会員相互の親密度の高い、和やかな雰囲気クラブです。国際交流や青少年活動（インターアクト）の継続事業を地道に続けられ、スポンサーした子クラブの育成にもご尽力されていて、良いクラブだなと思いました。

名古屋大須ロータリークラブ

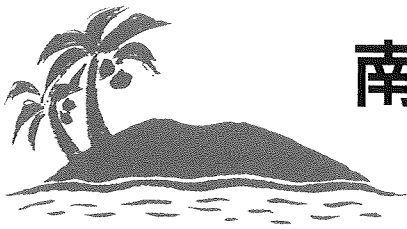


「自由活発なクラブ」

■訪問日：7月21日(木)
■例会場：プリンセスガーデンホテル

●会 長：尾上 昇
●幹 事：荻巢 賢二
●会員数：102名

若い会員が多く、行動力があり、自由な発言ができるクラブです。将来もっと楽しく大きなクラブに成長されるでしょう。特に、地域に根差した奉仕を立派になされています。活発な意見が相次いだ、楽しい協議会でした。



南の島にソーラの灯

第2760地区 環境保全委員会
名古屋和合ロータリークラブ
鷲塚 貞長

ともしび



《プロローグ》

「ガバナー年度における最重点施策の1つとして、環境保全を考えている。NHK報道番組における、諸外国の途上国に対するクリーンエネルギー供与の実態を知り、感ずるものがあった。途上国へのソーラ・ライティング・システムの援助を具体化したいと思うので、前段階としての調査と資料作りに協力してもらえないだろうか。」

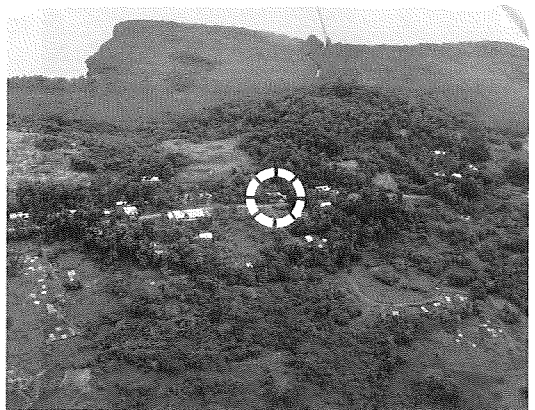
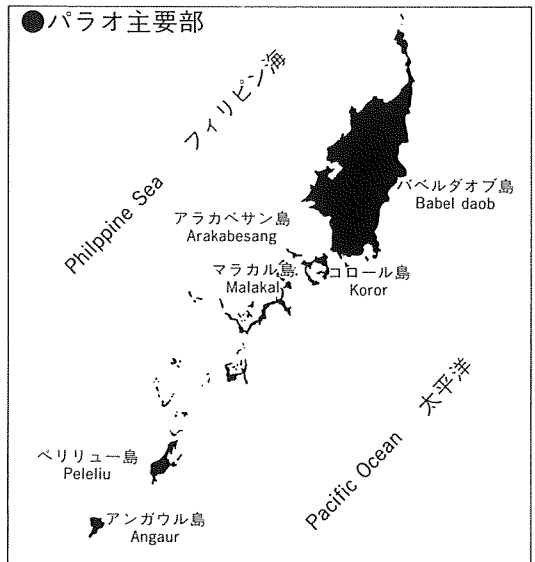
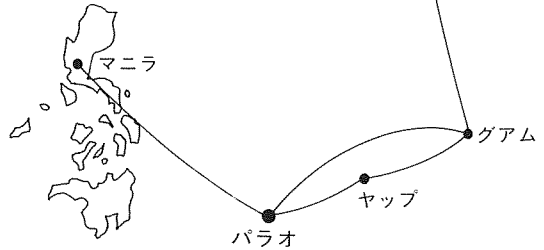
R. I. 第2760地区蜂谷ガバナーノミニーにそんな相談をいただいたのは、秋も終わりに近い昨年の10月27日のことでありました。

小生の専門分野は自然科学（臨床獣医学）で、上述の問題に関する技術的な細部に関してはまったくの素人ですが、エコノミーとエコロジーの整合性に関しては、それなりの信念と使命感を持っての日々でありましたので、浅学をかえりみず一応お受けすることとなりました。

このプロジェクトの推進にはいくつかの問題点があり、主なものとしては、実用に耐えるソーラ・システムのハード、途上国援助にまつわる様々なプロブレム、援助対象国の選定、そして何といっても最も重要なのは、会員各位のコンセンサスと予算措置であります。

さてソーラ・システムに関しては、なにしろ先進国においても新分野。平素ご厚誼をいただいている友人達の中で、その分野の専門に近いと思われる方々に、友情をたよりに情報収集しておりましたところ、矢崎総業の沼津工場長、矢崎千史君より11月21日に白鳥センチュリープラザにおいて、ソーラ関連メーカーの総合展示会が開催される旨の連絡をいただきました。

そしてこの会場で、ソーラのパイオニアであり上述のNHKの番組でもその製品が紹介された京セラさんと知己を得、その後名古屋支店長をはじめ関係者の方々にご協力をいただくこととなりました。



空から見たガラスマオ村。今回のソーラ・システムは表示のトワイ村長宅に設置された。

《現地視察と大統領会見》

コンチネンタル ミクロネシア 953便は、グアム3時間のトランジットを含め、出発してから約8時間の後、もうとっぷりと日の沈んだパラオ国際空港に、軽いバウンドとともに到着した。

イミグレーションには、我々視察団一行と同行のCBC-TV取材クルーを、グレゴリオ・デエロング氏（エネルギー室長）がニコヤカに迎えてくれた。

デエロング氏とは、事前に数度の書面のやりとりがあったが、今回が初対面。型通りの挨拶をかわしてから、2、3の軽い冗談をいっている内に、氏の気さくな人柄と相まって、何か長年の友人のような雰囲気となり、今回の旅のさい先の良さを肌で感じた。



視察団より手渡された蜂谷ガバナーの親書に見入るクニオ・ナカムラ大統領。

氏のはからいで、諸手続きは全てフリーパス。空港よりホテルまでの約15分のドライブは、連日30度を越える猛暑の名古屋に比べ、夜風が心地良く、いかにもゆったりとした南国の夜であった。

ホテル ニッコーパラオでは、早々に翌日のタイムスケジュールの鳩首会談。当初、翌朝10時に予定されていたナカムラ大統領との会見は、独立を2ヶ月後にひかえた過密スケジュールの為、午後3時からに変更。会見後の現地視察を午前中にくり上げることとし、バッドワイザーとサイミンといった、妙なとり合せの夕食をすませ、明日のハードスケジュールにそなえ早々と床についた。



温厚で気さくなパラオ共和国第4代大統領、クニオ・ナカムラ氏。

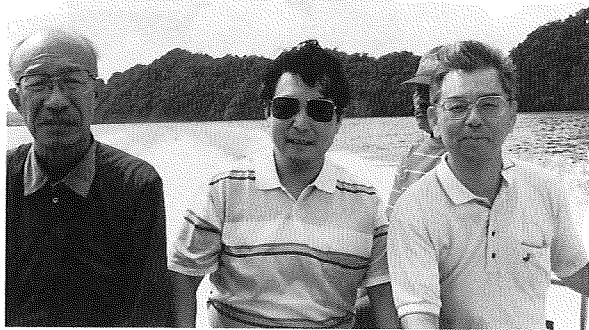
現地視察

東海地方より南方約3000キロ、フィリピンミンダナオ島の東方約1000キロ、北緯7度30分の洋上に浮かぶパラオ諸島は、200以上の島々よりなり、その内8島に約1万5000人の島民が住み、オーストラリア、グレートバリアリーフとともに世界二大リーフと称される南海の楽園である。

スペイン、ドイツ、日本の統治を受け（日本統治中は日本語教育が行われたので年配者はていねいな日本語が話せる）、第二次世界大戦の後は米国の信託統治となったが、1981年日本の非核三原則をはるかに凌駕する非核憲法のもと、パラオ共和国（大統領 上院下院制）として自治国家を形成、本年（平成6年）10月1日に世界最後の信託統治より脱し、独立を目ざしている。

パラオには高度成長もなければバブルもなく、衣食住共に完全自給が可能な国であるが、約50年にわたる米国統治による物質文明の悪影響は避けがたく、特に中心地コロール島では、徐々にではあるが近代化が進んでいる。

パラオの電力事情は現在小規模な火力発電が二基、それはとうていコロール島以外の電力供給をまかなえるものではない。



舟で目的地ガラスマオ州（ババルダホゴ島西岸）へ向かう。左より、近藤可和、鷺塚貞長、片山主水。

9:00Am、グレッグ氏が、年代物のクラウンで我々をピックアップにきてくれ、さっそく彼の事務所に向かう。

エネルギー開発省の関連オフィスは、約10室程の専門別に室が連なる平家建てで、氏の部屋にはすでに米国製のソーラシステムが可動しており、主として冷凍庫の電源として活用、庫内にはどういうわけかビニール袋入りのタクワンが入っていた。

グアムについて、ミクロネシア第二番目の面積を有するパラオ本島（バベルダオブ島）は10州に分かれており、小集落がマングローブとヤシのジャングルの中にパラオ有史以来の姿で点在している。

この度の2760地区における、途上国クリーンエネルギー（ソーラ ライティングキット）の援助予定地ガラスマオ州は、本島北部西岸に位置する。縦貫道路が未通の為、我々はコロールより海路をとり、軍艦島を左手に眺めつつ高速艇で約一時間走行。元日本軍のボーキサイト（アルミニウム鉱石）搬出突堤の廃墟から、さらにマングローブが密生し、幾重にも蛇行する小川を1キロほど上行、目的地ガラスマオ村の小さな舟付場に到着したのは、正午少し前であった。

舟付場より5、6分の村の中心部に存在する州事務所と集会所を併設した建物では、ガラスマオ州ガバナー ジャン レイウアー氏（サンフランシスコ Low school卒の弁護士）、村長ベケタウト トワイ氏（村の元小学

校長、60才）そして村民たちが一行を笑顔で迎えてくれた。

この集落は、民家約40戸、住民200人で、ガバナーオフィスを除けば、ニッパヤシがトタン屋根に変わった以外は、物質文明の弊害はほとんどおよんでいない。（翌日、セスナ機をチャーターしての空中視察においても、バベルダオブは全島密林に覆われ、十州の集落はことごとくジャングルの中に点在していることが確認された）

ビンロー樹とヤシの木がその高さを競い、湿地にはマングローブが密生し、主食のタロイモ、ミズイモが自生。バナナ、マンゴウ、イチジク、ドリアンのような実などが、随所にたわわに実り、ハイビスカスや名も知らぬ花々が咲きみだれ、リーフには豊富な魚貝類が生息する。村人は皆人なつこく、顔を合わせると少しはにかむようなやさしい笑顔を向けてくれた。

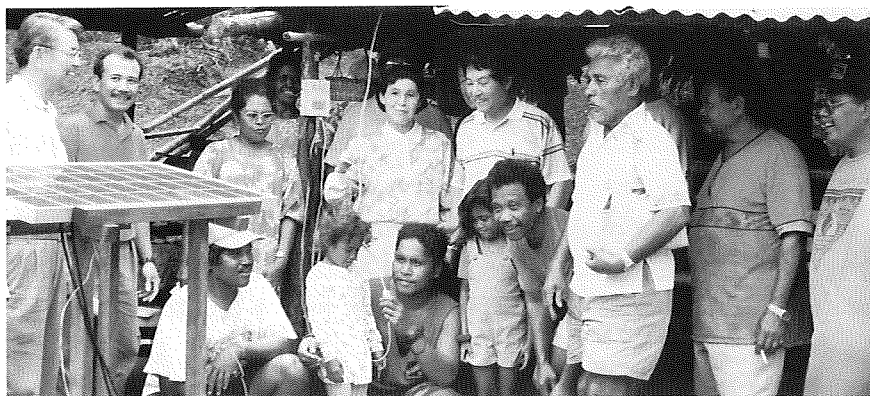
オフィスには国より供与されたソーラパネル二枚（シャープ社）が設置されており、（12州と4島、計16ヶ所に政府が供与）、主としてCommunication（無線機とスピーカー放送）の電源に活用されていたが、電灯はなく、将来にそなえ、天井から2～3の電線がたれ下がっていた。

村には3台の小型発電機（ヤンマー社）が存在したが、エンジンだけで500\$、ランニングコストが100\$／月を要し、村長の給料月300\$、村人（主として農漁民）の平均月収150\$ではほとんど使用できず、日常生活のあかりはランプにたよっている。

ある村民は、無垢な大地にだらしくオイルを漏出している1台のサビついた発電機を指さし「土もきたなくなるし、臭いもきらいだ、こんなものは使いたくない」と黄色い歯をニッと出して苦笑いしながら言葉少なく語ってくれた。

日本より持参した1台のソーラ・ライティ

点灯式に臨む村の人々。
左から2人目がトワイ村
長。



ング・キットは、テストケースとして、トタン屋根の素通し住居に十数人の家族が暮らしている村長さん宅に、とりあえず取り付けることとなった。

三々五々集まってきた大勢の村民が遠巻きに見守る中、2、3才の少女2人とガバナーがスイッチオン、75W相当の昼光色のライトが力強く点灯すると、拍手と歓声がわき上り、視察団一行は新鮮で何かほのぼのとした喜びを感じ、今後取り組んでいく上でより一層の勇気を与えてくれた。

CBC取材クルーのインタビューに答えてトワイ村長は「衣食住は自然の恵みで十分まかなえる。しかし灯りはまかなえない。我々はもっと灯りがほしい。それもきれいなものがいい。このライティングキットはすばらしいし、ランニングコストがかからないのは大変うれしい。なるべく早くほしいな。アメリカの物質文明を知ってしまった若者達は、このままでは次々と村を離れてしまう」。モンキーバナナ、ランボータン、パラオリング、ココナツジュース、シャコ貝貝柱、ミズイモ(タロイモと類似)、魚の丸ごとフライ、ドリアンに似たカルピスの味がする大きな実、サトウキビのような外観のイモ、そしてオニギリ、村民心づくしの昼食を共にした後、日本統治時代の病院、学校、神社の廃墟をトラックの荷台から眺めながら、機銃弾と爆弾跡の今も生々しいボーキサイト突堤より上船、大統領との会見の為再度コロールに向かった。

クニオ ナカムラ大統領との会見

コロール島とは橋一つの、アラカベサン島の小高い丘にある大統領官邸は、ブルー地に黄色い円が染めぬかれたパラオ国旗の左右に、国連旗と米国旗のたなびく瀟洒な建物で、会見はその日の四番目の会談として、大統領執務室でおこなわれた。

パラオ政府側よりは、クニオ ナカムラ大統領(ハワイ大、経済卒)、マルセリノ マライレイ資源開発省担当大臣(ハワイ大、都市工学卒)、グレゴリオ デエロング エネルギー室長(ニューヨーク州立大、電気卒)。我が方は、片山主水地区環境保全委員長、近藤可和委員、令夫人、そして小生。会見はCBC取材クルーのビデオ取りの中、約30分にわたって行われた。

今回のDonationに関連し、この訪問は単なる表敬ではなく、我々にはどうしてもお尋ねしておきたい事柄が数項あった。

ナカムラ大統領は、独立を直前にした超過密スケジュールの疲れもみせず、温かな笑みを常にたやさず、そのゆったりとした立居は会見場のテンションをやわらげ、きわめてなごやかな雰囲気でのmeetingは進行した。

言葉の解釈に不正確があってはならないと、日系二世、市川 正氏を通訳(日本語→パラオ語)として同席していただいたが、下手な英語での挨拶をしたばかりに、大統領は我々が英語に堪能と誤認され、そのほとんどを英語で話された。



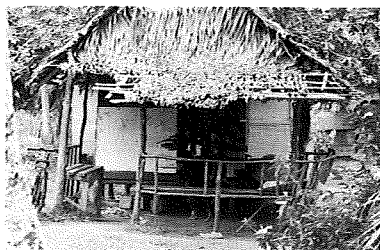
美しい海と緑のセブンティ アイランド。

蜂谷ガバナーよりの親書をお読みいただいで、「10月1日の独立は確定でしょうか」の間には、日本語で力強く「ハイ」と一言、英語ではI will be.「独立後にロータリークラブの設立はいかがでしょうか」には「ガンバリマス」(会見中大統領の日本語はこの二言)。そして「環境保全と経済基盤の確立との調和、それには今回のご好意は大変うれしく心より感謝している。自分は高校教師の経験もあるので、この灯は子供達の勉強にも大変役立つと思います」

大統領は、ロータリークラブのポリシーや活動状況には深い造詣と関心をもっておられ、グアム、ハワイのロータリークラブとの関連も話された。名古屋和合ロータリーのバナーをさしあげたところ、「来年には私達にもバナーがあるでしょう」

話題がパラオ国旗にうつると、ブルー地は無限の恵みをもたらすオーシャンです。そして中の黄色い丸は満月を表わし、それは完全、充実、幸いなどを意味しますと熱っぽく語られた。

話しはご家族のことや、おたがいの年齢や白髪のことまでおよんだが、最後に「この手紙をハチヤサンにお渡しください。そしてこの度寄せられたご好意に対し、2760地区の

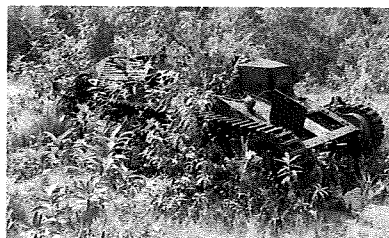


一般的なバベルダオフ島の民家。

皆様にくれぐれもよろしくお伝え下さい。地区大会出席は今は独立前で即答できないが、可能であれば出席したい。今夕は自分は公務で出席出来ないが担当大臣を出席させるので夕食の招待に応じてほしい」と、一人一人に分厚い温かい手で握手をされ、国旗とバッチをお土産にいただき官邸を後にした。

ここ数年の世界的気候異常はパラオも例外でなく、以前よりはくもり空が増えたそうであるが、今は雨期とはいえ、晴れ間に見せるパラオの空はあくまでも青く、火炎樹の花びらの可憐な紅とのコントラスト、そしてラグーンの織りなすモザイクの色彩は、とうてい表す言葉もない。

ロックアイランドを望むバルコニーの夕暮れは、淡い陽光が眼下のリーフのさざ波に縞模様を作り、心地良いそよ風が頬をなでる。そのしじまの中につつまれた時、時計が止まる。



第14師団17,000名が玉砕した激戦の島、ベルリュウ島にて。

それはたった100セットのソーラシステムかもしれない。しかしこの小さな灯は、戦後早や49年。その事実が一部風化しつつある、この南海の島々に散っていった第14師団17000名の将兵へのレクイエムであり、また、今やグローバルな課題となった、ロータリークラブの環境保全へのシンボリックな灯であるのかもしれない。(1994.7.31 機内にて)

MAKE-UPニコボックス

ご協力ありがとうございます。

メイクアップニコボックスにご協力頂きました金額は、7月26日現在、15会場で総額704,000円となっております。ご協力を心からお礼申し上げます。



KUNIWO NAKAMURA
President

REPUBLIC OF PALAU

Office of the President

P.O. Box 100, Koror • Republic of Palau 96940
Phone: (680) 488-2403 / 2541 • Fax: (680) 488-1662

29 July 1994
Serial: 332-94

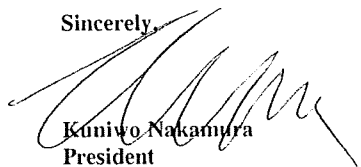
The Honorable Kodo Hachiya
District Governor
District 2760 of Rotary International
Office/Hotel Nagoya Castle #427
3-19, Hinokuchi-cho, Nishi-ku,
Nagoya, 451 Japan

Dear Governor Hachiya:

On behalf of the Government of the Republic of Palau I would like to thank you and your organization for your assistance. The donation of 100 solar energy systems is a very generous and thoughtful gift which we are deeply appreciative of.

I look forward to the attendance of members of your organization at our Independence Day celebration on October 1, 1994 and sharing this special day with them.

Sincerely,



Kuniwo Nakamura
President
Republic of Palau

パラオ政府を代表してあなたの組織の援助に対し、御礼申し上げます。

100セットのソーラーエネルギーシステムの寄付は大変心の広く
思いやりのある贈り物で、我々は大変感謝いたします。

私は、1994年10月1日の独立日の祝賀にあなたの組織のメンバー
が参加されることを期待し、共にこの特別な日の喜びを分かちあ
いたいと思います。

第2760地区ニュース・その他

募集

1993～'94年度「意義ある業績賞」

応募と選考委員委嘱のご案内

「意義ある業績賞」とは、ロータリークラブの奉仕活動の中で最も意義ある業績にふさわしいものを表彰するプログラムです。各地区の地区ガバナーが受賞クラブを選ぶものと定められています。

地区ガバナーが意義ある業績賞の受賞クラブを選定する場合の参考基準は、次の5項目となります。

- (1) その事業が地元の地域社会において、或いはその土地のみに限らず、誰の目から見ても重要な問題、またニーズを対象とするものでなければならない。
- (2) その事業が単なる金銭的な奉仕でなく、クラブ会員の大半または会員が直接参加するようなものでなければならない。
- (3) その事業が他のロータリークラブもこれと競争して行う

ことができるようなものでなければならない。

- (4) その事業が当該年度に始められたものであることを要しないが、その事業が現に実施中のものであること、もしくは、その表彰の行われるロータリー年度に終わられるものであることを立証するものを提唱しなければならない。
- (5) いかなるクラブも同一事業について重ねて業績の認証を受けることはできない。

■応募要項

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| 1. 意義ある業績賞選考委員 | 2. 申請再提出締切日…10月31日(明)必着 |
| 委員長 加納 泉(パスト・ガバナー) | 3. 申込書提出先…地区ガバナー事務所 |
| 委員 盛田利昭(パスト・ガバナー) | 内・地区選考委員会 |
| 委員 神戸正治(パスト・ガバナー) | 4. 申込書書式…自由 |
| 委員 宮地信尚(直前ガバナー) | |

ご寄贈ありがとうございました

あまRCよりロータリー財団へ

西尾張分區、あまRC森幸一会長から、ガバナー公式訪問に際し、ロータリー財団へ20万円寄付の申し出がありました。

名古屋大須RCより米山記念奨学会、ロータリー財団へ

名古屋第一分區、名古屋大須RC尾上昇会長から、ガバナー公式訪問に際し、米山記念奨学会へ20万円、及びロータリー財団へ20万円の各寄付の申し出があり、目録が贈呈されました。

お詫びと訂正

ガバナー月信2号9ページ、地区協議会の第1分科会参加者中、パストガバナー加藤直一郎君(岡崎南RC)が脱落しておりました。お詫びして訂正させていただきます。

計 報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

7月29日 関 喜兵衛(一宮RC)

8月2日 森田 美喬(半田RC)

文庫通信 第03号

●記念講演集●

「ムツゴロウ 大いに語る」作家 畑正憲 D.2520 1992年 12頁
 「世紀末の回顧と展望」上智大学教授 渡部昇一 D.2530 1993年 25頁
 「未来を語るもの—古代学の立場から」

東北芸術工科大学学長 久保正彰 D.2800 1993年 14頁

「知的野蛮人のすすめ」

NHK番組制作局エグゼクティブ・ディレクター 村上佑二 D.2540 1993年 15頁

「好かれる日本人、きらわれる日本人—国際化の中で」

評論家 犬養智子 D.2790 1993年 14頁

「蟹気楼と自然保護」 沢崎寛 D.2610 1992年 13頁

「和泉流狂言への招待」

和泉流十九世宗家 和泉元秀 D.2630 1993年 9頁

「空海と一遍」

国際日本文化研究センター所長 梅原猛 D.2670 1992年 7頁

「新しい水辺の里づくり」 山田勝彦(人吉RC.) D.2720 1993年 11頁

左記申込先
ロータリー文庫

〒105 東京都港区芝公園2-6-3
abc会館 7階

TEL (03) 3433-6456

FAX (03) 3459-7506

開館=午前10時~午後5時
休館=土・日・祝祭日



1995～'96年ロータリー財団奨学生選考にあたって

R財団奨学金委員長 小出 忠孝

多様であった。

本年は2学年留学という新制度が出来て2年目であり、学位取得を目的とする2学年留学に、優秀な志願者が多数応募してきた。そのためR財団奨学金のシェア・システムの利点を利用し、2学年留学生の数を増し選考した。今回の選考にあたり多数の優秀な人材を推薦頂いた各クラブに対し、心から御礼申し上げる。

R財団奨学金プログラムはロータリー活動の中で、大変重要かつ有意義な事業であり、蜂谷ガバナーの重要政策の一つとなっている。各クラブではガバナーのこの主旨をよく理解され、今迄以上のご支援をお願いする次第である。



1995～'96年度ロータリー財団奨学生合格者一覧表

〔1年奨学生〕

番号	氏名	性別	出身校	志望団	志望校	専攻分野	推薦クラブ
1	加藤三千代	女	淑徳大学文学部卒	英	バーミンガム大学	英文学	名古屋南
2	須賀敦子	女	愛知大学文学部卒	米	ウイスコンシン州立大学マジソン校	東アジア言語文化学	名古屋名駅
4	丹内敦子	女	お茶の水女子大学教育学部4年在学	仏	ソルボンヌ大学	フランス語 フランス文学	名古屋千種
6	松原晶子	女	南山大学文学部卒	米	カリフォルニア大学ロサンゼルス校	言語学・外国語教育	名古屋北
7	中村敦子	女	京都大学大学院文学研究科博士課程後期2年在学	英	ケンブリッジ大学	西洋史学 ヨーロッパ中世史	名古屋名東
8	加藤小百合	女	名古屋女子大学家政学部卒	加	ブリティッシュ・コロンビア大学	アジア研究	名古屋名東
9	正木晶子	女	上智大学大学院外国語学研究科博士課程在学	独	ミュンヘン大学	言語学(音声学)	名古屋和合
10	倉阪佳奈	女	南山大学文学部3年在学	独	ボン大学	独語学・独文学	名古屋和合
13	長江千春	女	名古屋大学文学部3年在学	米	ジョージタウン大学	国際関係論	小牧
14	伊津野知多	女	早稲田大学大学院文学研究科3年在学	仏	リヨン第二大学	映画学	岡崎東

以上10名

〔2年奨学生〕

番号	氏名	性別	出身校	志望団	志望校	専攻分野	推薦クラブ
17	榊原 郁	女	南山短期大学英語科卒 ノートルダム大学卒	米	アメリカン大学	国際ジャーナリズム	半田南
18	石橋徹平	男	国際基督教大学教養学部卒	米	Parsons School of Design	建築デザイン	常滑
20	山田千恵	女	南山大学文学部4年在学	独	ポツダム大学	独語学・独文学	名古屋大須
21	寺井真美	女	東京大学経済学部卒	米	ハーバード大学	法学	名古屋千種
24	米田美絵	女	南山短期大学英語科卒	米	セント・キャサリン大学	コミュニケーション学	名古屋昭和
26	市野恵子	女	南山大学文学部卒	米	ニューヨーク大学	博物館学	春日井
27	木下 薫	女	南山大学外国語学部卒	米	ミネソタ大学	開発学	尾張旭
28	朝岡浩美	女	早稲田大学社会科学部4年在学	米	コロンビア大学	国際開発学	一色
29	中村蘭子	女	淑徳短期大学英文科卒 オレゴン大学卒	米	コロンビア大学	応用言語学 外国語教育	犬山

以上9名

「ポール・ハリス自伝」に思う

1994-1995年国際ロータリー第2760地区 ガバナー蜂谷 弘道

【ポールの生い立ち】

ポール・ハリスは1868年4月19日、父ジョージ・ハリスと、ヘンリー・ブライアンの娘コーネリアの次男として美しいミシガン湖畔の町ラシーヌに生まれました。ヘンリー・ブライアンは弁護士であり、ラシーヌの第2代市長でもある名士でした。1949年、ゴールドラッシュ時代にカリフォルニア探検隊を組織して成功を夢見ましたが夢破れ、彼が死んだ時、未亡人に遺したものは小さな家庭以外何もありませんでした。

ポールが3歳のある夏の夜、父と5歳の兄セシルと三人でアメリカ東部のバーモント州ウォーリングフォードの町に汽車から降り立ちました。辺りは真っ暗でした。すると、ちらちら揺れているカンテラの光が見えました。カンテラを持った背の高い、がっしりとした男の人が、暖かい手でしっかりとポールの手のひらを握りました。その手はポールの父の手より遥かに大きなものでした。この背の高い人はポールの祖父だったのです。皆だまって歩いてついて行きましたが、物音ひとつしない暗闇の中でひとしお厳肅な気持になりました。暫く行くと、祖父がある門を開いて庭に入りました。建物の傍にあるベランダに近づくと中から戸が開かれ、そこには、黒い瞳の年配の婦人が灯油ランプをかざしながらじっとこちらを見ていました。それは父の母、ポールの祖母であり、これから母代わりになる人で、小柄な婦人でした。

その晩、祖母は優しく父と二人の孫を迎えてくれました。食堂に集まり、父と祖母はなにやら話をしていました。内容は解りませんが、ポールは子供心にしっかりこの情景を覚えております。新鮮なミルク、山盛り一杯のブルーベリー、小さなパン……、ポール達はお腹が空いていたのでガツガツ食べ、腹一杯の夕食をしました。祖母と父は相変わらず話に熱中しており、祖父は専ら聞き役でした。北の壁に掛けてあったバンジョー型の時計がボンと鳴って初めて、

「おや、お父さん、もう12時ですよ。」と祖母は時間の経つ速さにびっくりしました。祖父母は父が事業に失敗した後始末の話に気をとられ、時のたつのを忘れていたのです。兄とポールは寝室に連れて行かれ、新しいパジャマに着替えさせられました。そして、一人ずつ抱き上げられ、ふっくらした羽毛のベッドにストンと投げ込まれました。

ニューイングランド人の祖父は慎ましい人でした。息子ジョージに高等教育を受けさせるとラシーヌにドラッグストアと住宅とを買い与えました。父ジョージは祖父の寛大さに甘えて経費節約や増収増益の事は考えず生活をエンジョイしていました。母は音楽の家庭教師には適任でしたが家庭婦人には不向きで、音楽を教えて得る収入で子供たちの食事の世話をするメイドを1人、時には2人も雇っていました。母は如何なる時も身なりには心を配っていましたので、彼女のお化粧品代は貧しいニューイングランドの姑には言語道断に思えたのです。父は母ほど贅沢ではありませんでしたが、それでも相当な贅沢人で葉巻代とか親戚との交際費は常識の限度を超えていました。父をよく知っている人の中で、父を働き者と言った人は誰もいません。そんな状態の末、ついに破産し、一敗地にまみれた父は故郷に帰ってきたのですが、恥かしかつたに違いありません。母は、妹のニーナメイがまだ小さく、祖父母に預けても手におえないと思い、ポールたちが生まれたミシガン湖畔の美しい町ラシーヌに踏みとどまって頑張る事にしました。母はラシーヌの名家、ブライアン家出身でしたので、プライドが人一倍高かったのです。

<つづく>

★少年の心に「友愛」はどのように育まれたのでしょうか。